

コロサイ書 1章 24-29 節「キリストの奥義」

キリストの福音はユダヤ人たちが待ち望んでいたような救世主の登場とは違いました。その救いは神に選ばれた民であるユダヤ人だけに留まるものではなく、異邦人と呼ばれる人々も含まれたすべての人への福音であったのです。この奥義であるイエス・キリストの輝かしい栄光を私たち自身も受け取ることができ、また同時にそれに伴う苦しみをも、このパウロのように、喜ぶことができるようになります。

1. リーディング Reading 聖書を読みましょう

・しるしを付けながら、コロサイ人への手紙 1章 24-29 節を読みましょう。

「？」…疑問に思う語句や文章 「！」いいなとおもう語句や文章

・なぜ疑問に思ったのか（「？」を付けた語句や文章について）、またどうしてその語句や文章がいいなと思ったのか（「！」を付けた部分について）、自由に分かち合いましょう。

【コロサイ書 1章 24-29 節】

1:24 ですから、私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。そして、キリストのからだのために、私の身をもって、キリストの苦しみの欠けたところを満たしているのです。キリストのからだとは、教会のことです。

1:25 私は、あなたがたのために神からゆだねられた務めに従って、教会に仕える者となりました。神の言葉を余すところなく伝えるためです。

1:26 これは、多くの世代にわたって隠されていて、いま神の聖徒たちに現された奥義なのです。

1:27 神は聖徒たちに、この奥義が異邦人の間にあってどのように栄光に富んだものであるかを、知らせたいと思われたのです。この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。

1:28 私たちは、このキリストを宣べ伝え、知恵を尽くして、あらゆる人を戒め、あらゆる人を教えています。それは、すべての人を、キリストにある成人として立たせるためです。

1:29 このために、私もまた、自分のうちに力強く働くキリストの力によって、労苦しながら奮闘しています。

2. フォーカス Focus 焦点を絞りましょう

・内容観察：ここにはどんなことが書かれていますか？内容をまとめて自分のことばで言い表しましょう。

・フォーカス：当該聖書がフォーカスしていることは何ですか？（複数可）簡潔にまとめましょう。

3. スタディ Study 次の質問を手掛かりにして一緒に聖書を学びましょう

(1) 24-25 節で、パウロの務めは、誰からもらって、それは何だと言っていますか。

(2) (24 節)「キリストの苦しみの欠けたところ」とは一体なんなのでしょうか？キリストの救いには欠けがあるということでしょうか？それともこの表現によってパウロは何かを伝えようとしているのでしょうか？考えてみましょう。

(3) (24-27 節) パウロは使命のために苦難を喜んでいます。どうしたら、苦難を喜べると思えますか？

(4) 29 節では、パウロは任務を果たすため労苦して奮闘しているその源は、自分の内に力強く働くキリストの力だと言っています。そのような力はどのようにして与えられるのでしょうか、考えてみましょう。

(5) パウロの抱いた苦難と私たちの使命と照らし合わせてみましょう！私たちが今ある苦難は何が大変で、どのような点が信仰を難しくしていますか？

(6) あなたの苦しみや葛藤、悩みにキリストはどのように答えてくれるのでしょうか？また、周りに苦しんでいる家族や友人、同僚がいたら、あなたはどのように彼らの苦しみに寄り添い、仕えることができるのでしょうか？

4. アプリケーション Application 人生に適用しましょう

・この聖書の学びによって新しく知ったことや気づかされたことを自由に分かち合いましょう。